元請建設企業のみなさんへ

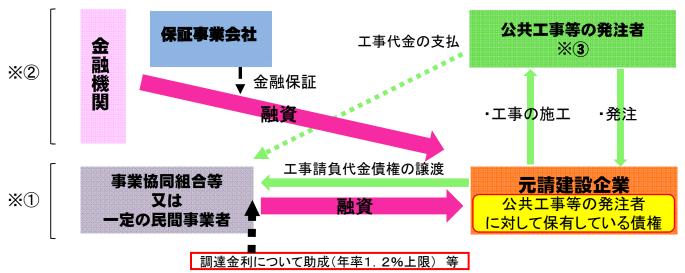
『公共工事等の受注に伴い、保証人・不動産担保なく、融資を受けたいときは・・・』

地域建設業経営強化融資制度

公共工事等の請負代金債権を担保に、低利で融資を受けられます。 未完成部分の施工に要する資金も融資を受けやすくなります!

制度の概要

- ●受注した公共工事の出来高が5割に達した場合、出来高に応じて融資を受けられます (複数回利用可)。貸付金利は、事業協同組合等への助成措置により低利となります。
- ●未完成部分の施工に要する資金については、前払金の支払を受けている場合、保証 事業会社の金融保証により、融資を受けやすくなります。
- ●公共性のある民間工事を受注した場合や東日本大震災の被災地域における災害廃棄物の撤去等(がれきの処理等)を受注した場合も対象となります。



- ※①: 工事の出来高部分までの融資(事業協同組合等又は一定の民間事業者が融資)
- ※②: 工事の出来高を超える部分の融資(保証事業会社の金融保証を受け、金融機関が融資)
- ※③:公共工事・公共性のある一定の民間工事(病院、福祉施設、PFIなど)及び東日本大震災の被災地域における災害廃棄物の撤去等の発注者

制度のお問い合わせはこちらへ

融資のご相談はこちらへ

本制度を実施している事業協同組合等(平成23年5月現在)

(事業協同組合等 39団体)

(争某協问組合寺 39団体)	1	
団 体 名 称	連絡先	
社団法人青森県建設業協会	017-722-7611	
社団法人岩手県建設業協会	019-653-6111	
宮城県建設業協同組合	022-263-1266	
社団法人秋田県建設業協会	018-823-5495	
社団法人山形県建設業協会	023-641-0328	
福島県建設業協同組合	024-521-1227	*
社団法人茨城県建設業協会	029-221-5126	
社団法人栃木県建設業協会	028-639-2611	
千葉県建設業協同組合連合会	043-247-3239	
ジェイケー事業協同組合	03-5408-7741	*
都中建協同組合	03-3356-7711	*
石川県総合建設業協同組合	076-244-1554	*
山梨県建設業協同組合	055-235-0608	
長野県建設事業協同組合連合会	026-228-7200	
南城建設協同組合	0577-75-2201	
益田建設業協同組合	0576-52-1165	
高山建設業協同組合	0577-32-2131	
飛騨大野建設業協同組合	0577-35-5577	*
恵南建設業協同組合	0573-56-3338	
清水地区建設事業協同組合	0543-64-5636	
浜松地区建設事業協同組合	053-454-9012	
天竜地区建設事業協同組合	053-926-1562	
滋賀県建設業協同組合	077-524-1748	
協同組合坂浅土木工業会	0749-62-3234	
阪神建設業協同組合	0725-22-6300	
愛媛県建設業協同組合連合会	089-943-5324	*
高知県建設業協同組合	088-872-8962	
中村地区建設協同組合	0880-34-3100	
福岡県建設業協同組合	092-641-5060	*
佐賀県建設工業協同組合	0952-23-0146	
長崎県建設工業協同組合	095-826-9141	*
対馬建設業協同組合	0920-52-0374	
熊本県建設業協同組合	096-364-6726	*
大分県建設業協同組合連合会	097-536-4800	
大分総合建設業協同組合	097-536-3231	
宮崎県建設事業協同組合	0985-23-3691	
鹿児島県建設業協同組合連合会	099-256-4355	*
奄美大島建設業協同組合	0997-52-2721	
沖縄県建設事業協同組合	098-878-1810	*
·		

(民間事業者 3社)

北保証サービス株式会社	011-241-8654	*
株式会社建設経営サービス	03-3545-8534	*
株式会社建設総合サービス	06-6543-2848	*

民間工事に関する融資のお問い合わせについては、建設業振興基金 (03-5473-4575)または上表*の民間工事融資相談窓口で受け付けてお ります。



融資の対象工事に公益的民間工事を追加。事業期間を平成23年度末まで延長。

主な拡充内容

●融資の対象となる工事の追加

(改正前)公共工事(※)

(※)経営事項審査の対象となる工事、公共工事の入札及び契約の適正化の促進に関する法律 第2条第2項に規定する公共工事等



(改正後)公共工事に加え、病院、福祉施設、PFI等の社会全体の効用を高める施設に 関する民間工事(※1)を対象とする(※2)。

- (※1)公共工事の前払金保証事業に関する法律第2条第1項に規定する公共工事 等 (上記の公共工事に該当するものを除く)
- (※2)発注者は、工事の出来高が、前払がなされた金額以上に到達したと認められる日以降に 債権譲渡の承諾を行うものとする(前払制度を導入している場合)。
- ●制度の一層円滑な運用を図るため、債権譲渡契約証書様式の一部を改める。

事業期間の延長

●融資を開始する期限は、平成24年3月31日までとする。

地域建設業経営強化融資制度

本制度利用の流れ

詳細は、事業協同組合等にお問い合わせください。







工事完成以後の流れ 融資までの流れ この制度を利用したい方はまずチェック! 保証事業会社による代金の清算 支出された工事である前払金保証を受け前払金が対象となる工事が 保証会社の保証が可能か相談金融機関の融資に対して 保証事業会社へ金融保証の申込 超貨の申込※
正融機関への融資の相談 チェック種 チェック項目 □ 資本金20億円以下又は従業員数1,500人以下の中小・中堅建設企業である □ 対象となる工事が以下のいずれかである ・公共工事(国、地方公共団体等が発注する工事) ・病院、福祉施設、PFI等の公共性のある民間工事 □ 対象となる工事の発注者が債権譲渡を承諾している 事業協同組合等による工事代金の請求・ 事業協同組合等による代金の清算 □ 低入札価格調査の対象となっていない □ 対象となる工事の出来高が以下を満たしている 工事完成 ・公共工事の場合 : 2分の1以上 ※金融機関は、保証事業会社と業務委託契約を締結している金融機関となります。詳しくは、保証事 ・公共性のある民間工事の場合 : 前払がなされた金額以上 業会社の各支店にお問い合わせください。 注:本制度を利用するにためにはこれ以外の条件を満たす必要が生じる場合もあります。 YES 出来高の確認 出来高の範囲までの融資契約・実行 事業協同組合等へ融資が可能か相談※ 事業協同組合等へ融資の申込 價権譲渡の承諾申請・承諾・契約締結 エックが入っている 部分についての融資を 部分についての融資を NO ※転貸融資時の ※「事業協同組合等」とは、事業協同組合等又は一定の民間事業者を指します。 相談・申込も可能です。 債権譲渡契約は、本制度に対応した様式であることが必要です。

地域建設業経営強化融資制度の具体的なイメージ(公共工事の場合)

